村のお財布事情 ―令和元年度の決算報告―

皆さんの納めた税金等がどのように使われたのかをご報告します。なお、詳しい資料は企画経営課（役場行政棟３階）で閲覧できるほか、村公式ホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ　企画経営課財政経営担当（☎282-1711 内線1334）

一般会計

福祉や教育、道路の整備等、村政運営の基本となる会計です。

歳　入	歳　出	差し引き
202億円	191億円	11億円

歳入から歳出を引いた11億円のうち２億円を令和２年度に実施する事業へ繰り越すため、実質的な差額（実質収支額）は９億円となります。その２分の１の金額を基金として積み立て、今後の支出に備えます。

歳入　202億円（前年度比 12億円増）

- **村税（111億円）** 村民税や固定資産税、都市計画税など　構成比 55.0%
- **国庫支出金（33億円）** 村の特定の事業に対して国から交付されたお金　16.3%
- **繰入金（22億円）**　10.9%
- **県支出金（10億円）**　5.0%
- **その他（26億円）** 使用料や手数料、交付金、繰越金など　12.8%

歳出　191億円（前年度比 7億円増）

歳入から歳出を引いた額…11億円

- **民生費（54億円）** 福祉や医療などに使われたお金　構成比 28.3%
  - 主な事業
    - ▽自立支援給付費
    - ▽児童手当
    - ▽民間保育所改築整備補助金
- **土木費（35億円）** 道路や公園の整備等に使われたお金　18.3%
  - 主な事業
    - ▽阿漕ケ浦公園改修工事
    - ▽（仮称）歴史と未来の交流館建設工事
- **総務費（26億円）** コミュニティセンターの運営など、村の運営全般に使われたお金　13.6%
  - 主な事業
    - ▽コミュニティセンター内装改修工事
    - ▽コミュニティセンター駐車場整備工事
- **教育費（33億円）** 幼稚園や小中学校、社会教育等に使われたお金　17.3%
- **衛生費（18億円）** 保健衛生や環境衛生、ごみ処理などに使われたお金　9.4%
- **公債費（6億円）** 村債の元金や利子の償還等に使われたお金　3.1%
- **その他（19億円）** 議会・消防・商工・農林水産業に使われたお金　10.0%

特別会計

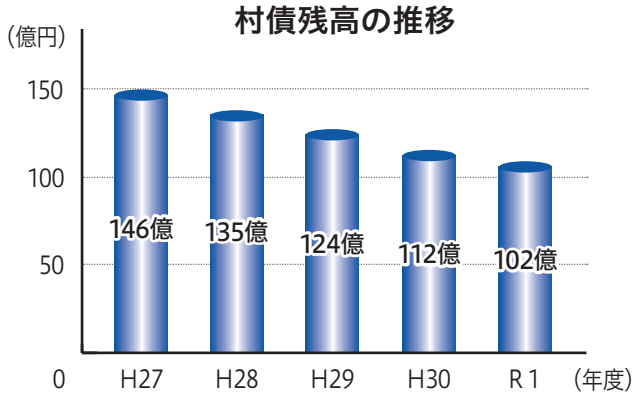
公共料金や利用料など特定の収入を、国民健康保険や介護サービスといった特定の事業に充てる会計のことです。

事業名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険事業	29億8,189万円	29億4,797万円	3,392万円
後期高齢者医療	4億7,344万円	4億6,859万円	485万円
介護保険事業	27億6,265万円	26億1,394万円	1億4,871万円
介護サービス事業	434万円	358万円	76万円
東海駅西土地区画整理事業	1億2,220万円	1億1,708万円	512万円
東海駅東土地区画整理事業	2億332万円	1億8,714万円	1,618万円
東海駅西第二土地区画整理事業	1,989万円	1,603万円	386万円
東海中央土地区画整理事業	10億3,448万円	7億9,538万円	2億3,910万円

村債

国や金融機関から借り入れたお金です。

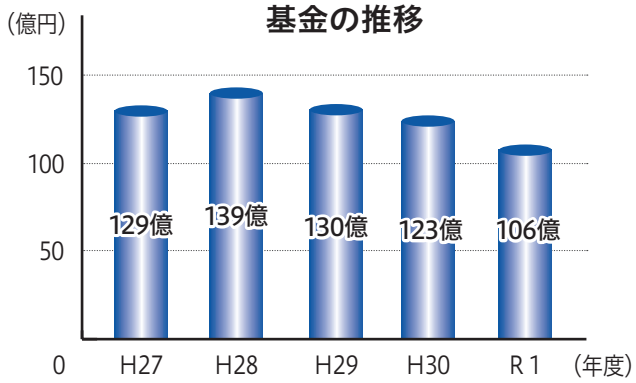
区分	残高	増減率（前年度比）
一般会計	18億3,830万円	△18.8%
水道事業	16億6,236万円	△6.1%
病院事業	12億461万円	△5.3%
下水道事業	55億1,647万円	△6.4%
合計	102億2,173万円	△8.7%



基金

将来の支出等に備えて積み立てておくお金です。

区分	現在高	増減率（前年度比）
財政調整基金	66億540万円	△10.3%
減債基金	11億2,238万円	△32.2%
特定目的基金	21億789万円	△17.0%
定額運用基金	7億8,249万円	△0.1%
合計	106億1,815万円	△14.0%



村のお財布事情を一言で表すと…？

- ☑ 歳入は村税が多いのが特徴で、年々減収している状況だよ。
- ☑ 歳出は民生費の占める割合が多くて、この割合はこれからも増えていく予定なんだ。
- ☑ 村債（借金）は、順調に返済できているね。
- ☑ 基金（貯金）は大きく取り崩しているね。これは大きな事業にかかるお金を基金で賄っているからなんだね。

村民１人当たりに使われたお金は？

行政の運営、地域自治の推進等（総務費）	約６万7,000円
福祉の充実（民生費）	約14万円
消防活動（消防費）	約１万6,000円
教育の充実（教育費）	約８万6,000円
保健衛生・ごみ処理（衛生費）	約４万7,000円
道路や公園等の整備（土木費）	約９万1,000円
村債の返済（公債費）	約１万5,000円
その他（議会費、農林水産業費、商工費等）	約３万5,000円

合計　約49万7,000円　※令和２年３月31日現在の住民基本台帳に基づく人口（３万8,381人）から算出しています。

財政の健全性を示す５つの指標

東海村は赤字や資金不足がないため、実質公債費比率を除く全ての項目で、数値が算出されませんでした。また、実質公債費比率についても危険度を示す25％を大幅に下回っており、村の財政は健全といえます。

東海村の財政の健全性

財政良好 ← → 財政悪化

早期健全化基準　財政再生基準

①実質赤字比率

一般会計を中心とした赤字の割合

H29	H30	R１	対前年度比
なし	なし	なし	―

東海村 なし　13.16%　20.0%

一般会計が黒字のため、該当なし。

②連結実質赤字比率

全ての会計（一般会計、特別会計、公営企業会計）の赤字の割合

H29	H30	R１	対前年度比
なし	なし	なし	―

東海村 なし　18.16%　30.0%

全ての会計が黒字のため、該当なし。

③実質公債費比率

年間の借金返済額の割合

H29	H30	R１	対前年度比
4.4	4.3	4.2	△0.1

0％　東海村 4.2%　25.0%　35.0%

前年度から0.1ポイント下降。

④将来負担比率

将来負担が見込まれる負債の割合

H29	H30	R１	対前年度比
なし	なし	なし	―

東海村 なし　350.0%

充てられる財源が将来負担額を上回るため、該当なし。

⑤資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額の大きさを示す割合

H29	H30	R１	対前年度比
資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし	―

各公営企業 資金不足なし　20.0%

全ての公営企業会計において資金不足の発生なし。

“東海村さん家”の家計簿
～もしも東海村が、年収約600万円の家庭だったら～

村の財政規模は、金額が大きすぎて実感が湧かないかもしれません。そこで、一般会計決算を約3000分の１の額とし、家計簿（年度分）に置き換えてみました。約600万円の年収に換算した場合の東海村のやりくりがどのようなものか見てみましょう。

収　入

他に頼らないお金（自主財源）72%

給与（村税、分担金・負担金、使用料・手数料）	380万円
預貯金からの引き出し（繰入金）	75万円
前年度からの繰り越し（繰越金）	21万円
雑収入（諸収入、財産収入）	9万円
親からの仕送り（地方譲与税、地方交付税、国・県支出金等）	183万円
ローン借り入れ（村債）	4万円
合　計	672万円

●東海村さん家の収入の特徴

給与（村税など）や預貯金からの引き出し（繰入金）など、他に頼らないお金のことを「自主財源」と言います。収入の中でも給与は全体の57%を占めており、預貯金から引き出したお金などと合わせると、全体の72%を占めます。

支　出

必ず支払うお金（義務的経費）35%

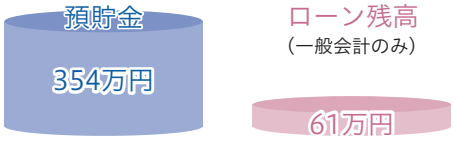
食費（人件費）	108万円
医療費、学費（扶助費）	93万円
ローン返済（公債費）	19万円
光熱水費・日用品の購入費（物件費）	114万円
自宅の増改築・修繕（維持修繕費、普通建設事業費、災害復旧事業費）	110万円
子どもへの仕送り（繰出金）	61万円
会費、保険、友人への支援（補助費等）	86万円
貯金（積立金、投資・出資金、貸付金）	45万円
合　計	636万円

●東海村さん家の支出の特徴

食費（人件費）や医療費・学費（扶助費）など、必ず支払うお金のことを「義務的経費」と言い、支出の中でも35%を占めています。

やりくり（財政運営）のポイント

自主財源のみでは必要経費を全て賄うことはできないため、親からの援助（地方譲与税など）を得ながら、やりくりしています。現在、預貯金が354万円、ローン残高（一般会計に係るもの）が61万円です（右図参照）。



※令和元年度末の「預貯金」と「ローン」の残高

村の令和元年度決算を見ると、健全な財政状況といえますが、今後の税収減を見据え、継続的に安定した行政サービスを行えるよう中長期的な見通しを立てて、事業を行っていきます。次年度以降も引き続き、限られた財源を有効に活用し、適正で効率的な予算執行に努めます。

山田村長